



サイボウズ® ガルーン[®]2 シンク
powered by **Intellisync[®]**

マニュアル

第1版

サイボウズ株式会社

はじめに

本書では「サイボウズ (R) ガルーン (R) シンク バージョン 2.0.0 powered by Intellisync(R)」のインストールと操作方法について説明しています。




本書の内容をよくお読みいただいた上で、実際の作業を行ってください。

■対象読者

本書は「サイボウズ (R) ガルーン (R) シンク バージョン 2.0.0 powered by Intellisync(R)」をお使いになる一般ユーザーの方を対象として書かれています。

■本書で使用している表記

本書では、以下のような表記をしています。

表 記	意 味
 重要	特に重要な注意事項を記述しています。
 注意	操作に注意すべき事項、制限事項などを記述しています。
 補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な事柄などを記述しています。
※	用語の説明や操作を補足する説明が後述されていることを表します。

■マニュアル作成環境

本書の説明は、特に説明がない限り、以下の環境を使用して記述しています。

OS	Windows XP
Web ブラウザー	Internet Explorer 6
製品バージョン	サイボウズ (R) ガルーン (R) バージョン 2.0.1 サイボウズ (R) ガルーン (R) シンク バージョン 2.0.0 powered by Intellisync(R)

※ 本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

■アプリケーション名

システム管理者の設定によっては、アプリケーション名の表記が本書の表記と異なる場合があります。

■ 製品名称と略称

本書中、各製品名称は以下のように表記します。

製品名	略称
サイボウズ(R) ガルーン(R) バージョン 2.0.1	ガルーン 2
サイボウズ(R) ガルーン(R) シンク バージョン 2.0.0 powered by Intellisync(R)	シンク

■ お客様へのお知らせ

以下の契約内容（以下、「本使用許諾契約」といいます）を注意深くお読みください。同梱されている Intellisync Corporation（以下、「Intellisync」といいます。）のソフトウェアプログラム（以下、「本ソフトウェア」といいます。）をお客様のコンピュータシステムにインストールまたは使用することにより、お客様は自動的に本使用許諾契約に同意したものとします。本使用許諾契約を注意して読んだ後、お客様が、使用許諾契約の条項に同意されない場合は、速やかに本ソフトウェアをお客様のコンピュータシステムから削除してください。

■ 使用許諾契約

「サイボウズ(R) ガルーン(R) 2 シンク powered by Intellisync(R)」

サイボウズ株式会社 使用許諾契約書

上部に記載されたサイボウズ株式会社（以下、「サイボウズ」といいます。）のソフトウェア製品（以下、「本ソフトウェア」といいます。）の使用権（以下「ライセンス」といいます。）を購入された法人、団体（お客様による資本参加率が 50%を超過する子会社および関連会社はお客様と同一の法人または団体とみなします。）（以下、「お客様」といいます。）へのご注意：本使用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、本ソフトウェアに関してお客様とサイボウズの間締結される法的な契約書です。お客様は、本ソフトウェアライセンスのご購入申し込み前に本契約書の内容を確認する手段やその機会があった場合は、サイボウズにご購入を申し込んだ時点で、ご購入申し込み前にその手段や機会がなかった場合は、登録キー証明書に貼付の保護シールを剥離した時点で、それぞれ本使用許諾契約（以下、「本契約」といいます。）の条項に拘束されることに承諾したものとみなされます。

本ソフトウェアは、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびにその条約によって保護されています。本ソフトウェアはサイボウズがお客様に対してその使用を許諾するもので、販売するものではありません。

1. 定義

- (1) 「ライセンス」とは、1つの登録キー毎に与えられる1つの使用权を意味し、許諾された範囲内で本ソフトウェアを使用することができる権利をいいます。お客様がすでに本ソフトウェアのライセンスをお持ちで、さらに当該ライセンスにユーザー数を追加するライセンス（以下「追加ユーザーライセンス」といいます。）を購入された場合、当該追加ユーザーライセンスはすでにお持ちのライセンスと同一かつ一体のライセンスとみなされます。
- (2) 「登録キー」とは、ライセンスの範囲内で本ソフトウェアの使用を許諾されたことを証明するもので、サイボウズが発行し、登録キー証明書に記載されたものをいいます。お客様は本ソフトウェアに登録キーを登録することで本ソフトウェアを使用することができます。
- (3) 「登録ユーザー」とは、以下に示すソフトウェア（以下「連携先ソフトウェア」といいます。）を使用するユーザーとして、本ソフトウェアに登録された方をいいます。

連携先ソフトウェア：サイボウズ (R) ガルーン (R) 2

なお、お客様は当該連携先ソフトウェアの使用权を正規に取得しているものとします。

- (4) 「利用するユーザー」とは、登録ユーザーのうち、お客様が本ソフトウェアを使用させるユーザーとして指定した方のことをいいます。

2. 使用範囲

- (1) お客様は、お客様が連携先ソフトウェアとあわせて使用する目的にのみ、本ソフトウェアを使用することができます。
- (2) お客様は、ライセンスで許諾されたユーザー数を超えない範囲内で利用するユーザーを指定することができます。本ソフトウェアは、利用するユーザーに指定された方のみが使用することができます。お客様が本ソフトウェアの追加ユーザーライセンスを新たに購入された場合は、追加したユーザー数を合計した数を利用するユーザーとして指定することができます。
- (3) お客様は、本ソフトウェアを、利用するユーザーの使用するクライアント PC にインストールして使用させることができます。
- (4) 1つのライセンスで許諾されたユーザーの数、その他ライセンスの内容を複数に分割することはできません。
- (5) お客様は、同一か否かを問わずいかなるコンピュータ上においても、1つの登録キーを並行して使用することはできません。

3. その他の条件

3-1. 複製の制限

お客様は、お客様の入力されたデータをバックアップすることを目的に本ソフトウェアを複製することができます。ただし、お客様のデータバックアップを目的とした複製物は、バックアップしたデータを復旧する場合を除いて、お客様の保有するものであると第三者の保有するものである、とを問わず、いかなるコンピュータ上においても並行して使用されないことを条件とします。

お客様は、本ソフトウェアを、バックアップする目的以外で複製することはできません。

お客様は、同一使用ユーザーにおける複数コンピュータ上での利用を目的に本ソフトウェアの複製を行うことができます。同一でない利用するユーザーにおける使用を目的とした複製はできません。

3-2. 頒布・送信の禁止

お客様は、本ソフトウェアを第三者に対して頒布、送信（自動公衆送信、送信可能化を含む）等を行うことは一切できません。

3-3. 貸与、担保設定、転売等の禁止

お客様は、本ソフトウェアの貸与、リース、担保設定等を行なうことはできません。また、本ソフトウェアを使用する権利を譲渡、転売、付与、あるいはその使用を再許諾することはできません。よってお客様はいかなる状況においても、お客様以外の法人または団体の従業員および構成員、その他個人に対して、本ソフトウェアを使用する権利を与えることはできません。

3-4. リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、改変等の制限

お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、改変、または本ソフトウェアの派生ソフトウェアを作成することはできません。また、本ソフトウェアに関するドキュメントを修正、翻訳、翻案することはできません。また、本ソフトウェアは1つの本ソフトウェアとして許諾されており、お客様はその構成部分を分離して使用することはできません。

3-5. その他

- (1) 本契約書は、お客様に対し、サイボウズおよび、Intellisync Corporation（以下「Intellisync」といいます。）の商標またはサービスマークの使用、その他関連した権利を許諾するものではありません。本契約書で明記されていない権利については、サイボウズおよび Intellisync に留保されます。
- (2) お客様が本ソフトウェアを旧バージョン製品からのバージョンアップ、代替製品からの乗り換えとして使用される場合、お客様はサイボウズによってバージョンアップ対象製品または代替乗り換え対象製品として指定されている製品（以下、「既存取得製品」といいます。）のライセンスを正規に取得していなければなりません。なお、既存取得製品におけるデータをコンバートする必要がある場合を除いては、既存取得製品を破棄（アンインストール）した後、単一のサーバーコンピュータにインストールし、

本契約で許諾された範囲内でのみ使用することができます。本ソフトウェアをバージョンアップまたは乗り換えとして使用される場合、既存取得製品のライセンスは自動的に消滅します。よって、既存取得製品のデータをコンバートする場合においても、本ソフトウェアをインストールした後、速やかにコンバート作業を行ない、コンバート作業終了次第速やかに、既存取得製品を破棄（アンインストール）しなければなりません。

4. 本契約の解除および終了

- (1) お客様が本契約書の条項および条件の1つにでも違反した場合、サイボウズは本契約をなんらの催告なくして即時解除することができます。
- (2) 本契約が解除となった場合、お客様は、本ソフトウェア、構成部分、ドキュメント、ならびにその一切の複製物を破棄し、使用を継続してはなりません。
- (3) 本契約の解除に伴って本ソフトウェアの全部または一部が利用不可能となることによって、お客様ならびに第三者が被った損害等について、サイボウズおよびIntellisyncは一切責任を負いません。

5. 品質保証

サイボウズは、本ソフトウェアの配給媒体（ソフトウェアの記録媒体、登録キー証明書、その他説明書等）に物理的な瑕疵がある場合、本ソフトウェアのお買い上げ後 90 日間に限り、交換により対応するものとします。このとき、提供される代替品はサイボウズによって選択されるものとし、交換前のものと同一の内容であることの保証はいたしません。ただし、これらの場合、お客様は本ソフトウェアと、その購入を証するものの両方をサイボウズに返却するものとします。また、サイボウズは、お客様または第三者の故意あるいは過失による場合は、保証の責任を負わないものとします。

6. 保証の制限

お客様は、本ソフトウェアの使用に基づいて発生した一切の直接・間接の損害（データ滅失、サーバーダウン、業務停滞、第三者からのクレーム等）ないし危険はすべてお客様のみが負うことをここに確認し、同意するものとします。

サイボウズおよび Intellisync は、本ソフトウェアに含まれた機能がお客様の要求を満足させるものであること、本ソフトウェアが正常に作動すること、本ソフトウェアに瑕疵（いわゆるバグ、構造上の問題等を含む）が存していた場合に、これが修正されること、のいずれも保証いたしません。また、サイボウズのいかなる口頭又は書面によるいかなる情報又は助言も、新たな保証を行ない、又はその他いかなる意味においても本保証の範囲を拡大するものではありません。

サイボウズは本ソフトウェアプログラムに付随するサービス等についてお客様の事前の許可なく変更・中止する場合があります。サイボウズおよび Intellisync は、本契約締結時における本ソフトウェアプログラムと同等の使用環境を永続的に保証するものではありません。

7. 責任の制限

いかなる場合であっても、不法行為、契約その他いかなる法的根拠による場合でも、サイボウズ、Intellisync、再販売業者、および各情報コンテンツの提供会社は、お客様その他の第三者に対し、営業価値の喪失、業務の停止、コンピュータの故障による損害、その他あらゆる商業的損害・損失等を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。さらに、サイボウズおよび Intellisync は、第三者のいかなるクレームに対しても責任を負いません。なお、本ソフトウェアに付随する各サービス等をご利用になる際は、別途各サービスの規定に従って取り扱われる場合があります。各情報コンテンツの提供会社によって提供されるサービス等のご利用については、各情報コンテンツ提供会社の取り決めに基づくものとします。

8. 登録キー情報の守秘義務と不正使用の禁止

お客様は、故意、過失を問わず、また本契約終了の前後を問わず、いかなる場合においても本契約において知り得た、本ソフトウェアのコード・構造・編成等に関する情報、ならびに登録キーに関する全ての情報を第三者に対して開示・漏洩してはいけません。また、本契約書に違反した登録キーの不正使用はこれを一切禁じます。

9. 著作権等

- (1) 本ソフトウェア（HTML プログラム部分および各画面表示部分を含む一切）、本ソフトウェアに関する文書、図面、ドキュメントなどの文書に関する所有権、著作権をはじめとするその他一切の知的財産権（以下「本件知的財産権」といいます。）は、サイボウズ、Intellisync、およびその供給者に帰属します。
- (2) 本件知的財産権は、著作権法及びその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。したがって、お客様はこれらを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
- (3) 本ソフトウェアからアクセスされ表示・利用される各コンテンツについての無体財産権は、各情報コンテンツ提供会社の財産であり、著作権法及びその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。

10. 準拠法および雑則

本契約は法の抵触に関する原則の適用を除いて日本国の法律を準拠法とします。

本契約書ないし本ソフトウェアに関して紛争が生じた場合には、訴額に応じて、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審管轄裁判所とすることにお客様もサイボウズも合意するものとします。

11. その他

お客様が入手した本ソフトウェアに、本契約と異なる条項の使用許諾契約および条件が添付されている場合は、サイボウズによって特に本契約と異ならしめるものと明記してあるものを除き、お客様による本ソフトウェアの使用には、本使用許諾契約が優先して適用されるものとし、本契約は、両当事者間の使用許諾に関する唯一の合意であり、両当事者の署名ないし記名押印ある書面によってのみ、変更することができます。また、販売店がお客様に対して用意している注文書に記載されている条件は、本契約に対して効力を持たず、本契約内容にささかの影響をあたえるものではありません。

Intellisync(R) は Intellisync Corporation の登録商標です。

■ 著作権

本ソフトウェアは、合衆国著作権法、日本国著作権法、および国際条約規定により保護されています。本ソフトウェアについての知的財産権に対するいかなる権限もお客様に移転されるものではないことをご了解下さい。さらに、本ソフトウェアについての権限および完全なる所有権は、Intellisyncの独占的財産権として存続すること、および、本使用許諾契約に明示に定められる場合を除き、お客様は本ソフトウェアについて、いかなる権利も取得するものではないことをご了解下さい。本ソフトウェアのすべてのコピーは、本ソフトウェアの上部および内部に表示されるのと同じの所有権表示を含むことをご承諾下さい。お客様は、本使用許諾契約に基づきお客様によって作成された本ソフトウェアのすべてのコピーについての正確な記録を保管しなければならないことに同意したものとみなします。

■ 使用上の禁止事項

事前に Intellisync の書面による許可を入手することなく、以下の行為を行うことはできません。(a) 本使用許諾契約に明示に定められる場合を除き、本ソフトウェアもしくはこれに関する書面を使用、複製、修正、変更または譲渡すること、(b) 本ソフトウェアを翻案、逆アセンブル、逆コンパイル、プログラムの置き換えもしくはその他の方法により、リバースエンジニアリングすること、(c) 本ソフトウェアもしくはその書面をサブライセンスまたはリースすること、(d) 本ソフトウェアをレンタル、タイムシェアリングもしくはコンピュータサービス業務において使用すること。お客様が本使用許諾契約の条項に違反した場合は、Intellisync は、他のすべての権利を損なうことなく、本使用許諾契約を解除することができます。このような場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを破棄して下さい。

■ 限定保証

Intellisync は、本ソフトウェアが購入された日から 30 日の期間内において、付属の文書の記述に従って実質的に機能することを保証するものとし、ソフトウェアに関する黙示保証はこの 30 日間に限定されます。

■ エンドユーザーへの補償

本ソフトウェアが上記の「限定保証」条項に適合しなかった場合の Intellisync の全責任とこれに対する唯一の救済は、Intellisync の裁量により、(a.) エラーを修正する、または (b.) エラーの解決法を見つける、のいずれかに限られます。ソフトウェアの欠陥が、事故、悪用、または誤用によるものである場合は、限定保証は無効となります。交換されたソフトウェアはご購入当初の限定保証期間中保証されます。

■ 免責条項

Intellisync は、「限定保証」条項で明記した保証以外には、本ソフトウェアに対するいかなる保証も致しません。Intellisync は、ソフトウェアに対し明示、黙示を問わず、商品適性、特定用途に対する適合性、および第三者による著作権などの権利の非侵害に関していかなる保証も行いません。管轄区域によっては、黙示保証や黙示保証の保証期間の除外、または偶発的損害の制限の除外を認めていないため、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合もあります。この保証は、お客様に対して特定の法律上の権利を与えるものです。また、管轄区域によっては、その他の権利が適用されることもあります。

■ 結果的損害に対する責任の排除

いかなる場合においても、Intellisync は、たとえ Intellisync がそのような損害の発生の可能性について知っていた場合においても、本ソフトウェアの実行または使用から生じる結果的損害、特別損害、付随的損害またはその他のあらゆる種類の間接損害についての責任を負いません。

■ 商標について

- ・ サイボуз、Cybozu、ガルーン、Garoon、およびサイボузのロゴマークはサイボуз株式会社の登録商標です。
- ・ Intellisync、Intellisync のロゴは、米国 Intellisync Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・ 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。
- ・ このソフトウェアは、アメリカ合衆国特許 5,392,390、5,666,553、5,684,990、5,701,423、5,943,676、6,044,381、6,141,664、6,212,529、6,330,568 および 6,405,218 で保護されています。その他の特許は申請中です。

Copyright (C) 2005 Cybozu, Inc. All rights reserved.

Copyright 1996-2004 Intellisync Corporation. All Rights Reserved.

目次

第 1 章	シンクの概要	11
1.1	シンクの概要	12
1.2	動作環境 (確認環境)	13
1.3	利用できる機能	14
1.3.1	利用できる機能 (ガルーン 2 のアプリケーション)	14
1.3.2	利用できる機能 (シンク対応のツール)	14
第 2 章	シンクのインストール	15
2.1	インストールする前の確認	16
2.2	クライアントパソコンへインストールする	17
2.3	初期設定を行う	21
2.3.1	シンクの設定	21
2.3.2	さらに詳細な設定を行う	22
2.4	アンインストールする	24
第 3 章	ガルーン 2 で行う設定	25
3.1	管理者が行う設定	26
3.1.1	シンクの利用ユーザーの設定	26
3.1.2	CSV ファイルで利用ユーザーを管理する	29
3.2	ユーザーが行う設定	32
第 4 章	シンクの操作	33
4.1	Microsoft Outlook とのシンクを実行する	34
4.1.1	シンク対象のデータを設定する	34
4.1.2	シンクを実行する	37
4.2	PocketPC とのシンクを実行する	39
4.2.1	シンク対象のデータを設定する	39
4.2.2	シンクを実行する	41
4.3	Palm とのシンクを実行する	43
4.3.1	シンク対象のデータを設定する	43
4.3.2	シンクを実行する	45
4.4	ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定	47
4.4.1	シンクを行う範囲の設定	47
4.4.2	シンクを行う項目の設定 (フィールドマッピング)	48
	索引	50

シンクの概要

1

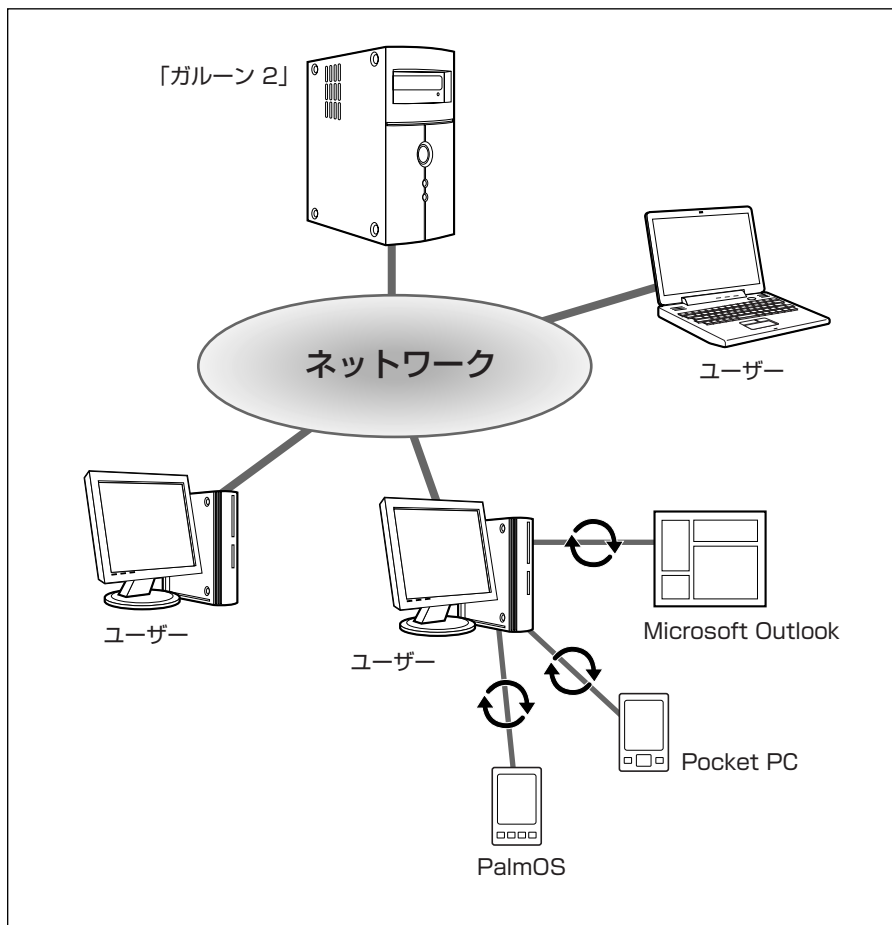
1.1	シンクの概要	12
1.2	動作環境（確認環境）	13
1.3	利用できる機能	14
1.3.1	利用できる機能（ガルーン2のアプリケーション）	14
1.3.2	利用できる機能（シンク対応のツール）	14

1.1 シンクの概要

1.1

シンクの概要

「シンク」は、「ガルーン 2」と Microsoft Outlook / Pocket PC / Palm の間で情報を同期するためのソフトウェアです。「ガルーン 2」と Outlook / Pocket PC / Palm の間で情報を同期すれば、外出先で予定やアドレス帳などの確認が可能です。



1.2 動作環境（確認環境）

「シンク」をインストールして使用するには、以下の環境が必要です。

- ・正常に動作している「ガルーン 2」にアクセスできる環境

クライアントパソコン：

- ・OS：Windows 2000 / XP（日本語版）
- ・CPU：Pentium 以降
- ・ハードディスク：60 MB 以上の空き容量
- ・メモリ：128 MB 以上
- ・ディスプレイ：VGA（640 × 480 ドット）表示が可能なもの

1.3 利用できる機能

1.3

1.3.1 利用できる機能（ガルーン 2 のアプリケーション）

「シンク」は、「ガルーン 2」の以下のアプリケーションのデータとシンクできます。

ガルーン 2	Outlook	Pocket PC	PalmOS
スケジュール	予定表	予定表	予定表
アドレス帳	連絡先	連絡先	アドレス
ToDo リスト	仕事	仕事	ToDo
メール	受信トレイ	受信トレイ	メール
メモ	メモ	メモ	メモ帳

1.3.2 利用できる機能（シンク対応のツール）

「シンク」は、以下のデバイスまたはアプリケーションで実行できます。

- ・ Microsoft Outlook 2000 / Outlook XP / Outlook 2003
- ・ Microsoft Pocket PC 2002 / Pocket PC 2003 / Pocket PC 2003 Second Edition
- ・ Palm OS 4.0 または Palm OS 5.0 以降の Palm OS デバイス

シンクのインストール

2

2.1	インストールする前の確認	16
2.2	クライアントパソコンへインストールする	17
2.3	初期設定を行う	21
	2.3.1 シンクの設定	21
	2.3.2 さらに詳細な設定を行う	22
2.4	アンインストールする	24

2.1 インストールする前の確認

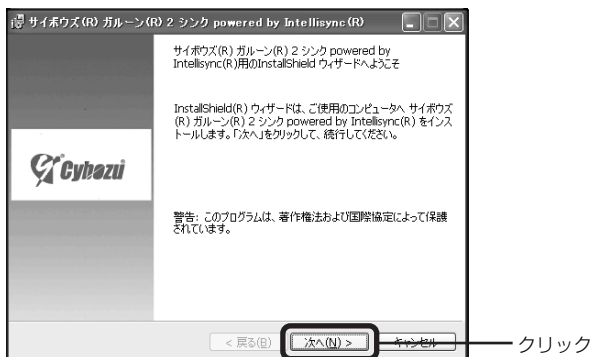
■以前のバージョンの「インテリシンク」がすでにインストールされている場合

携帯電話や PDA との同期を行う「インテリシンク」、「サイボウズ Office 6」と同期を行う「Intellisync 5.2J for サイボウズ Office 6」と、「サイボウズ ガルーン 2 シンク」を一台のクライアントパソコン上で共存させることはできません。これらの「インテリシンク」がクライアントパソコン上にインストールされている場合は、アンインストールしてから「シンク」のインストールを行ってください。

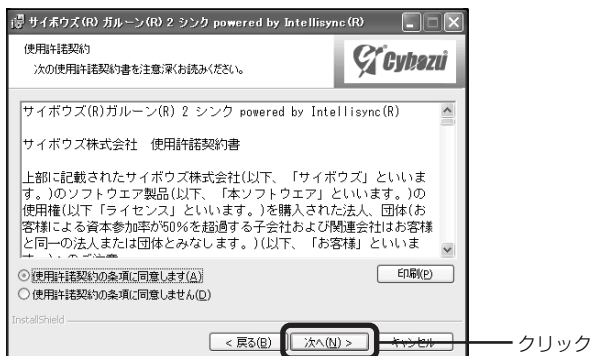
2.1

2.2 クライアントパソコンへインストールする

- 1 インストーラー「grn-sync-2.0.0.exe」を起動する
- 2 インストールを続行する場合は、**次へ(N) >** をクリックする



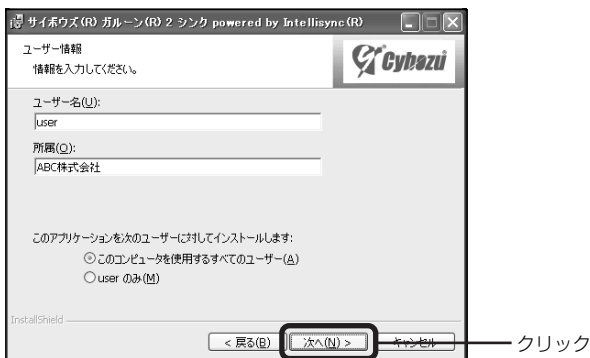
- 3 製品の使用許諾契約を確認し、合意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、**次へ(N) >** をクリックする



※ 使用許諾契約に合意しない場合、**キャンセル** をクリックしてください。インストーラーが終了します。

※ ひとつ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

4 ユーザー情報を入力し、**次へ(N) >** をクリックする



5 「シンク」のインストールディレクトリを確認し、**次へ(N) >** をクリックする



※ 通常のインストール先のフォルダは C:\Program Files\Cybozu\Garoon2_Sync# です。インストールディレクトリを変更する場合、**変更(C)...** をクリックしてディレクトリを指定してください。

※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。

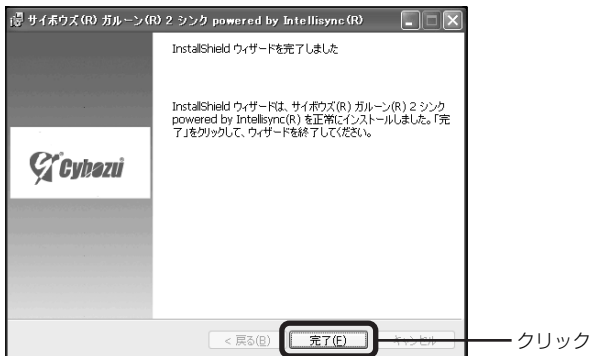
※ ひとつ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

6 設定した内容と表示された内容に間違いがないかを確認し、**インストール(I)** をクリックする



- ※ 以前のバージョンの「インテリシンク」がPCにインストールされている場合は、アンインストールが行われます。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ ひとつ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

7 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、**完了(F)** をクリックする



8 「シンク」を起動し、動作を確認する

● スタートメニューから起動する

Windows の [スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム] > [ガルーン 2 シンク] > [ガルーン 2 シンク] をクリックすると、「シンク」が起動します。

2.2

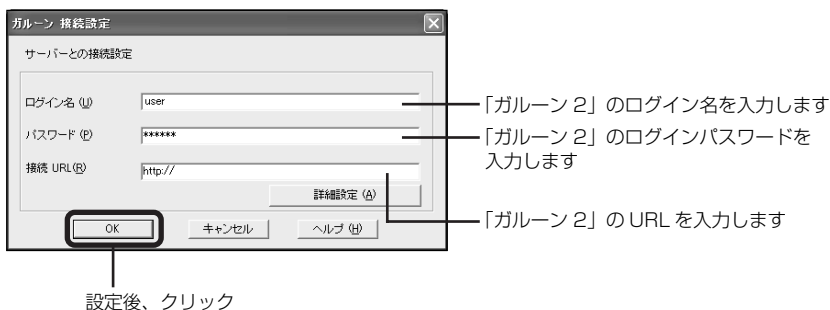
「シンク」を初めて起動すると、「ガルーン 接続設定」画面が表示されます。この画面が表示されれば、インストールは問題なく完了しています。



2.3 初期設定を行う

2.3.1 シンクの設定

- 1 「シンク」を起動し、「ガールーン 2」の URL と、同期するユーザーのログイン名とパスワードを入力し、**OK** をクリックする



重要

- 接続先 URL は通常の場合、下記の URL です。
 - ・ Windows 環境
http:// (サーバーのアドレスまたはホスト名) /scripts/cbgrn/grn.exe/sync/index
 - ・ UNIX 環境
http:// (サーバーのアドレスまたはホスト名) /cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/sync/index
- 「ガールーン 2」の URL などが不明の場合は、ネットワークの管理者にご確認ください。

補足

- すでに使用を始めている状態から、「ガールーン 接続設定」画面を表示するには、トップ画面で、**H** アイコンをクリックします。

2.3.2 さらに詳細な設定を行う

プロキシを有効にしたり、有効にしたプロキシ認証を使用する設定をしたり、基本認証を使用する設定をします。

2.3

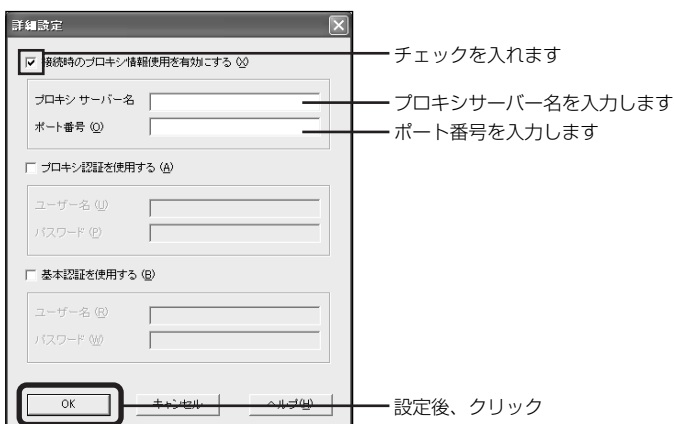
初期設定を行う

- 1 「ガールーン 接続設定」画面の **詳細設定 (A)** をクリックする



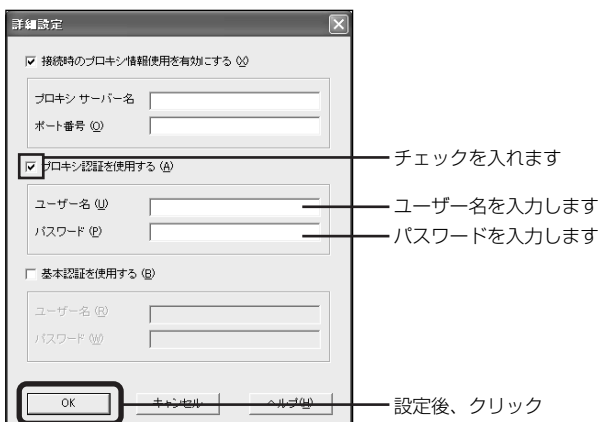
■ プロキシを有効にする設定

- 1 「詳細設定」画面の「接続時のプロキシ情報使用を有効にする」にチェックを入れ、「プロキシサーバー名」及び「ポート番号」を入力する



■ プロキシ認証を使用する

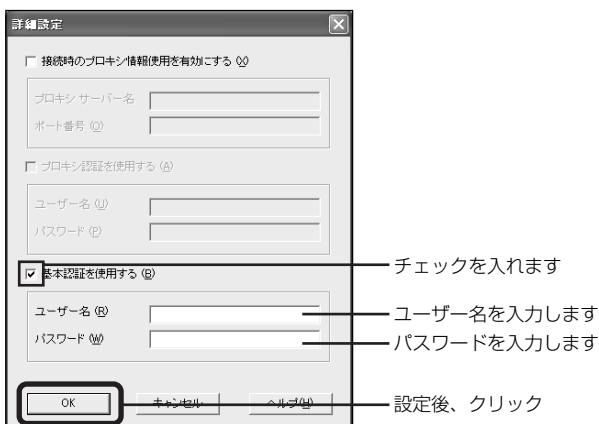
- 1 「詳細設定」ウィンドウの [プロキシ認証を使用する] にチェックを入れ、「ユーザー名」及び「パスワード」を入力する



※ このプロキシ認証を使用するためには、先に「接続時のプロキシ情報使用を有効にする」にチェックを入れ、プロキシを有効にしておく必要があります。

■ 基本認証を使用する

- 1 「詳細設定」画面の [基本認証を使用する] にチェックを入れ、「ユーザー名」及び「パスワード」を入力する

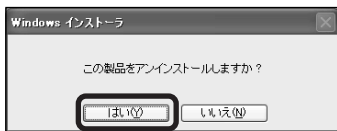


2.4 アンインストールする

2.4

アンインストールする

- 1 Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] > [サイボウズ ガルーン 2 シンク] > [ガルーン 2 シンクのアンインストール] を選択する
- 2 アンインストールの確認画面で [はい] をクリックする



クリック

ガルーン 2 で行う設定

3

3.1	管理者が行う設定	26
3.1.1	シンクの利用ユーザーの設定	26
3.1.2	CSVファイルで利用ユーザーを管理する	29
3.2	ユーザーが行う設定	32

3.1 管理者が行う設定

シンクを使用するユーザーを設定します。

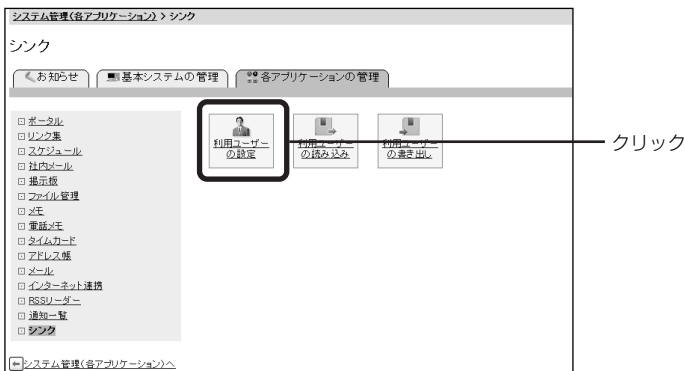
3.1.1 シンクの利用ユーザーの設定

3.1

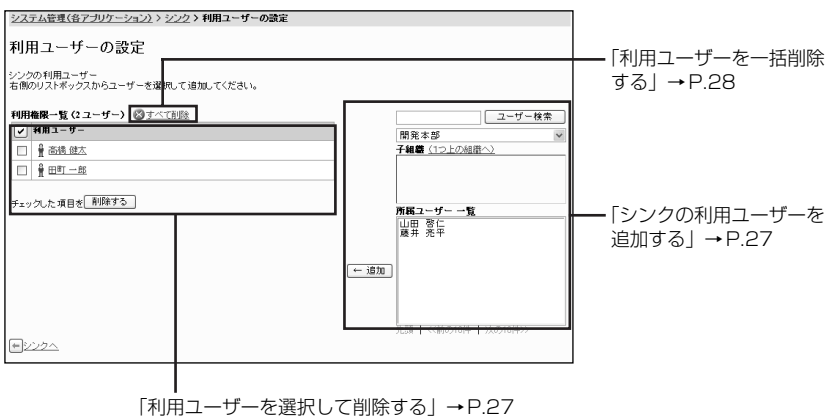
管理者が行う設定

1 「システム管理」画面で、各アプリケーションの管理 → シンクの順にクリックし、利用ユーザーの設定をクリックする

システム管理画面へのアクセス方法は、管理者マニュアルの「システム管理画面のアクセス方法」を参照してください。



2 必要な項目を設定する

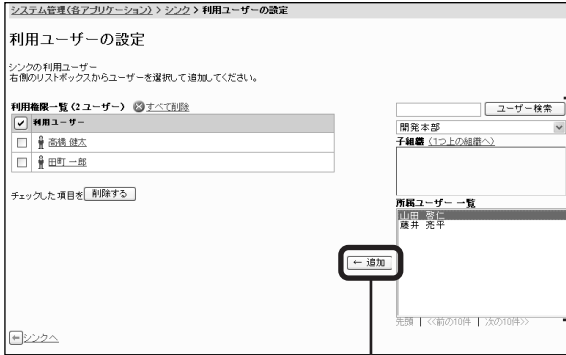


■ シンクの利用ユーザーを追加する

シンクを使用するユーザーを追加します。

1 「利用ユーザーの設定」画面で、追加する対象を選択し、**← 追加** をクリックする

対象の選択方法については管理者マニュアルの「対象の選択方法」を参照してください。

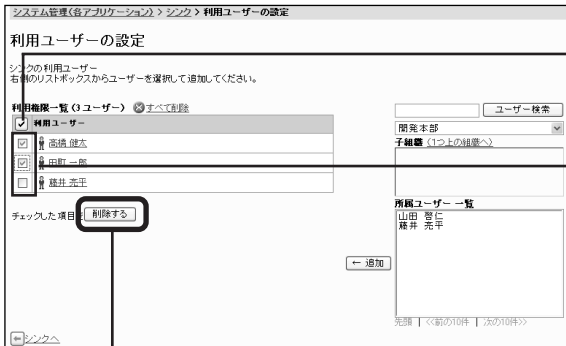


設定後、クリック

■ 利用ユーザーを選択して削除する

設定されている利用ユーザーを選択して削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面で、削除する対象にチェックを入れて、**削除する** をクリックする



設定後、クリック

2 **はい** をクリックする

※ 利用ユーザーの削除を中止する場合、**いいえ** をクリックします。

■利用ユーザーを一括削除する

設定されている利用ユーザーを一括削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面で、**すべて削除**をクリックする



2 **はい** をクリックする

※ 利用ユーザーの一括削除を中止する場合、**いいえ** をクリックします。

3.1.2 CSV ファイルで利用ユーザーを管理する

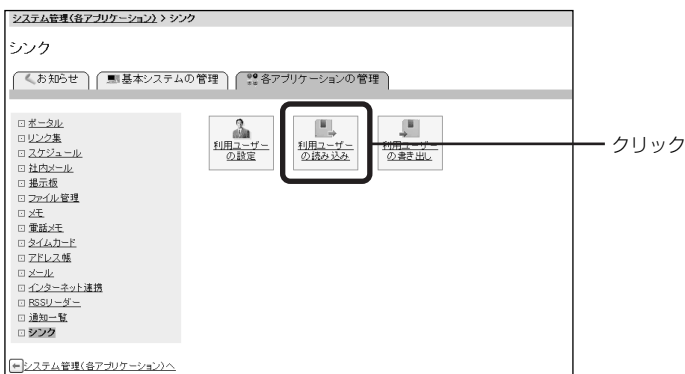
シンクを利用するユーザーを、CSV ファイルで読み込んだり、CSV ファイルに書き出して管理できます。

■利用ユーザーの CSV ファイルを読み込む

シンクを利用するユーザーを、CSV ファイルで読み込んで設定します。

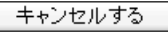
1 「システム管理」画面で、 各アプリケーションの管理 → シンクの順にクリックし、 利用ユーザーの読み込みをクリックする

システム管理画面へのアクセス方法は、管理者マニュアルの「システム管理画面へのアクセス方法」を参照してください。



2 読み込む方法を設定し、 をクリックする



※ 読み込みを中止する場合、 をクリックします。

3 利用ユーザーデータを確認し、**読み込む** をクリックする

3.1

利用ユーザーデータを
確認する

クリック

※ 読み込みを中止する場合、**キャンセルする** をクリックします。前の画面に戻る場合は、**前へ** をクリックします。

利用ユーザーデータの CSV ファイルについて

シンクの利用ユーザーを CSV ファイルで管理できます。

- CSV ファイルの作成にあたっては、「管理者マニュアル」の「CSV ファイルを作成するときの注意点」を参照してください。
- 利用ユーザーデータの CSV ファイルのフォーマット

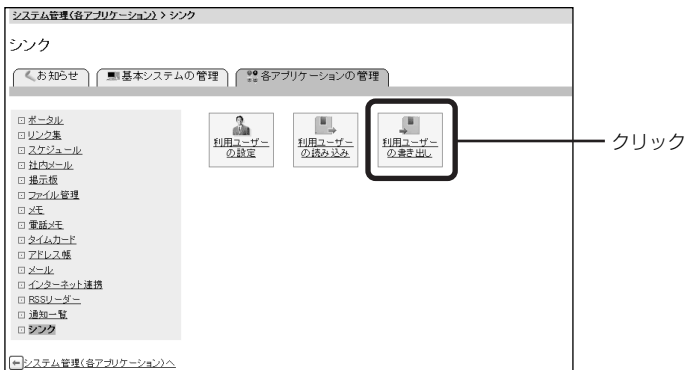
ログイン名

■利用ユーザーを CSV ファイルに書き出す

シンクの利用ユーザーデータを、CSV ファイルに書き出します。

1 「システム管理」画面で、各アプリケーションの管理 → シンクの順にクリックし、利用ユーザーの書き出しをクリックする

システム管理画面へのアクセス方法は、管理者マニュアルの「システム管理画面へのアクセス方法」を参照してください。



2 書き出す方法を設定し、書き出す をクリックする



設定後、クリック

※ 書き出しを中止する場合、キャンセルする をクリックします。

3 ファイルを保存する

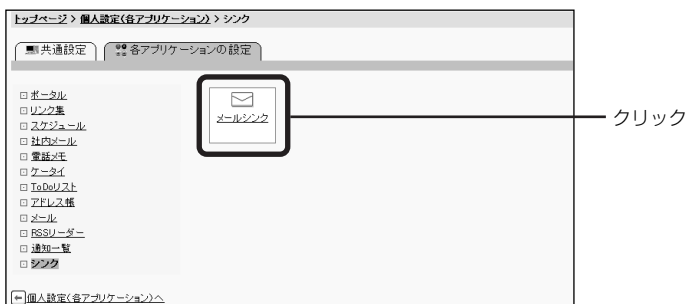
※ Web ブラウザーでファイルを保存する操作を行ってください。

3.2 ユーザーが行う設定

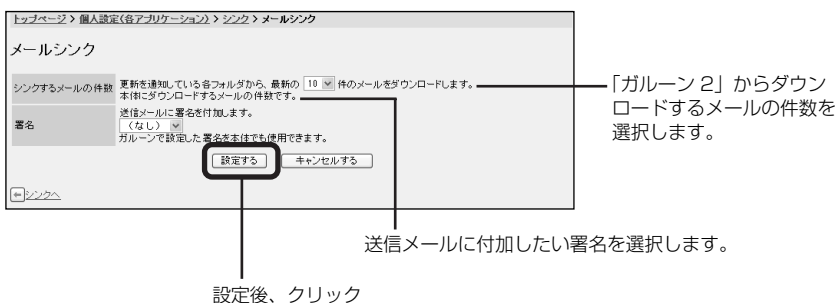
メールのシンクを行うのに必要な設定を行います。

1 「個人設定」画面で、 各アプリケーションの管理 → シンクの順にクリックし、 メールシンクをクリックする

個人設定画面へのアクセス方法は、ユーザーマニュアルの「個人設定画面へのアクセス方法」を参照してください。



2 必要な項目を設定する



注意

- メールシンクを利用する場合、ユーザーが「ガルーン 2」のメール機能を利用できる状態になっている必要があります。メール機能が利用できない場合は、システム管理者にご確認ください。

補足

- メールダウンロードは、最新のものから順に指定された件数ずつ行います。
- シンク相手先に設定している署名は、メールには反映されません。

データをシンクするための基本的な操作について説明します。「ガルーン 2 シンク」を使用してシンクできる「ガルーン 2」のアプリケーションのデータは、スケジュール/アドレス帳/ToDo リスト/メモ/メールです。

- 「シンク」を使いこなすための詳細な説明については、「シンク」のヘルプをご覧ください。

4.1	Microsoft Outlook とのシンクを実行する.....	34
4.1.1	シンク対象のデータを設定する.....	34
4.1.2	シンクを実行する.....	37
4.2	PocketPC とのシンクを実行する.....	39
4.2.1	シンク対象のデータを設定する.....	39
4.2.2	シンクを実行する.....	41
4.3	Palm とのシンクを実行する.....	43
4.3.1	シンク対象のデータを設定する.....	43
4.3.2	シンクを実行する.....	45
4.4	ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定.....	47
4.4.1	シンクを行う範囲の設定.....	47
4.4.2	シンクを行う項目の設定 (フィールドマッピング).....	48

4.1 Microsoft Outlook とのシンクを実行する

「Microsoft Outlook」と「ガルーン 2」のデータを同期するには、以下の手順で操作します。

4.1.1 シンク対象のデータを設定する

シンク相手（Microsoft Outlook / Pocket PC / Palm Handheld から選択します。）を一度設定した場合は、次回「シンク」を起動した際にも、その設定が残ります。

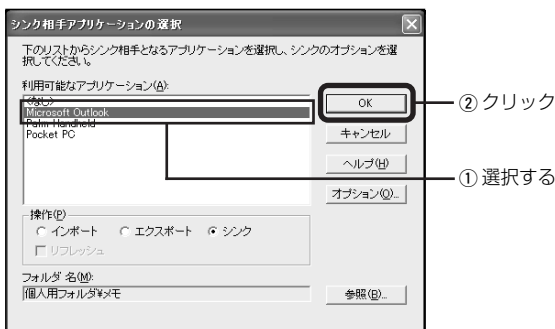
目的のシンク相手が表示されていない場合や正しく設定されてない場合、以下の方法で設定を行います。

- 1 シンクしたい「ガルーン 2」のアプリケーションをクリックしてチェックを入れ、**シンク相手の選択(L)** をクリックする



① チェックを入れる

- 2 「シンク相手アプリケーション選択」画面で「Microsoft Outlook」を選択し、**OK** をクリックする



■ Microsoft Outlook で複数のユーザープロファイルを設定している場合

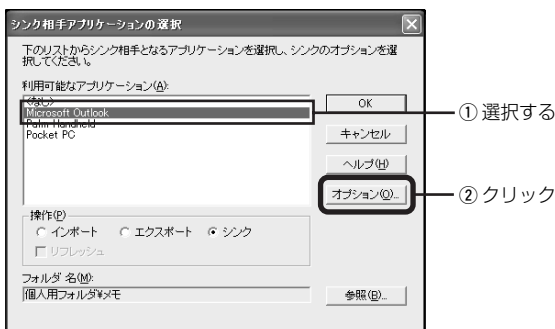
以下の手順で、同期の対象となるプロファイルを指定してください。同期の対象となるプロファイルを切り替えることができます。

- 1 目的の「ガルーン 2」アプリケーションを選択した状態で、**シンク相手の選択(C)** をクリックする



① チェックを入れる

- 2 「利用可能なアプリケーション」から、「Microsoft Outlook」を選択し、**オプション(O)...** をクリックする



① 選択する

② クリック

3 「オプション」画面で目的のプロファイルを選択し、**OK** をクリックする



4.1

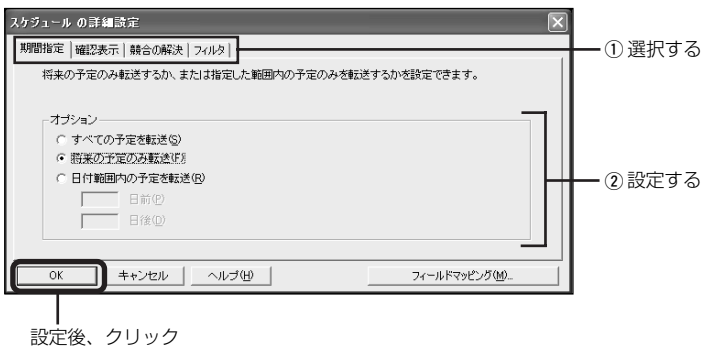
■ 詳細設定を変更する

1 設定を変更する「ガルーン 2」のアプリケーションを選択した状態で、

詳細設定(D) をクリックする



2 必要な項目を設定し、**OK** をクリックする



「ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定」→ P.47

4.1.2 シンクを実行する

登録した同期の設定に従って、同期を実行します。

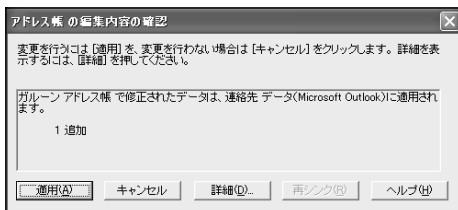
1 画面右下のシンクアイコン をクリックする



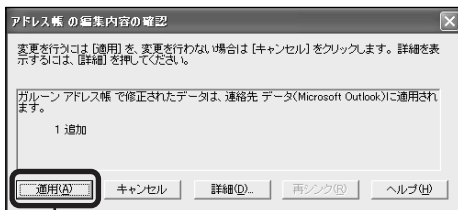
シンク実行中は以下の画面が表示されますので、終了するまでお待ちください。



前回の同期以降に追加、更新、削除されたデータを認識すると、確認画面が表示されます。



2 修正を実行する場合、 をクリックする



クリック

補足

- 「○○（アプリケーション）の編集内容の確認」画面で **詳細(D)...** をクリックすると、シンクするデータの詳細な内容を確認できます。
- シンクするデータの範囲を細かく指定することもできます。詳しくはシンクの「ヘルプ」をご覧ください。
「ヘルプ」は、各画面から関連する内容のページを開くことができます。

4.1

■再シンクについて

再シンク(R) をクリックして実行できる機能は以下のとおりです。

- 前回のシンクの記録を参照せずに、現時点で双方に存在するデータを共有する
- データを失ったり削除した場合に、他方に残っているデータを利用して元に戻す

「前回のシンクで登録／変更／削除されたデータ」かどうかを判別せずに、現時点で双方に存在するデータをそのままシンクしたい場合や、一度 Microsoft Outlook のデータを削除した後で、削除を取り消したい場合は、「再シンク」ボタンを押してください。

4.2 PocketPC とのシンクを実行する

PocketPC とガルーンのデータを同期するには、以下の手順で操作します。

4.2.1 シンク対象のデータを設定する

シンク相手（Microsoft Outlook / Pocket PC / Palm Handheld から選択します。）を一度設定した場合は、次回「シンク」を起動した際にも、その設定が残ります。

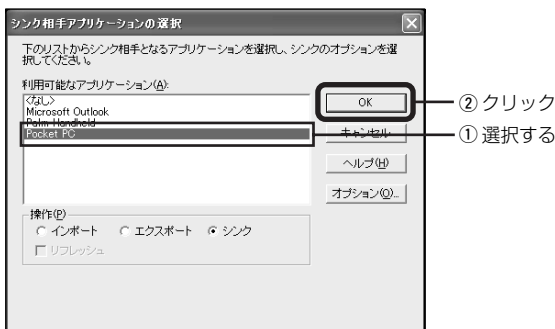
目的のシンク相手が表示されていない場合や正しく設定されていない場合、以下の方法で設定を行います。

- 1 シンクしたい「ガルーン 2」のアプリケーションをクリックしてチェックを入れ、**シンク相手の選択(L)** をクリックする



- ① チェックを入れる

- 2 「シンク相手アプリケーションの選択」画面で「PocketPC」を選択し、**OK** をクリックする

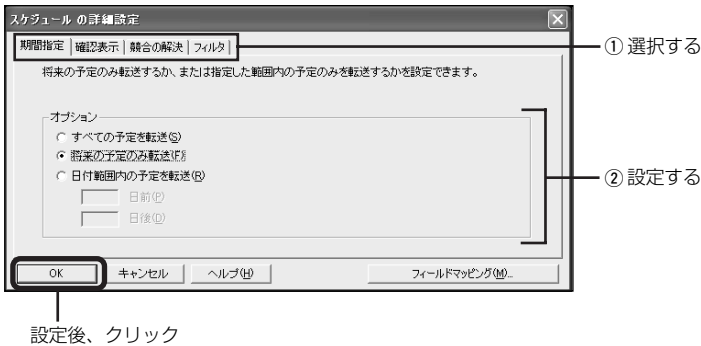


■ 詳細設定を変更する

- 1 設定を変更する「ガルーン 2」のアプリケーションを選択した状態で、
詳細設定(D) をクリックする



- 2 必要な項目を設定し、OK をクリックする



「ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定」 → P.47

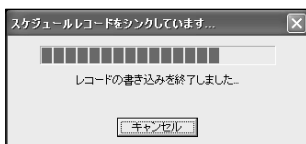
4.2.2 シンクを実行する

登録した同期の設定に従って、シンクを実行します。

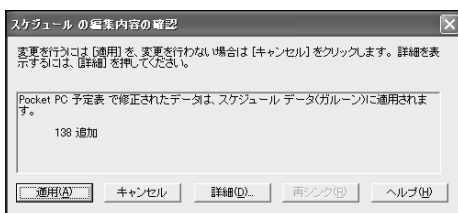
1 画面右下のシンクアイコン をクリックする



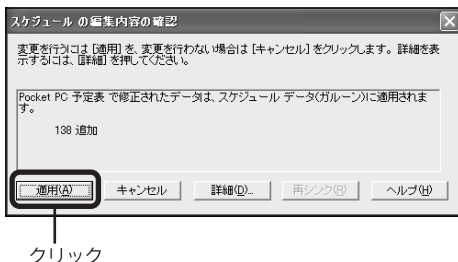
シンク中は以下の画面が表示されますので、終了するまでお待ちください。



前回のシンク以降に追加、更新、削除されたデータを認識すると、確認画面が表示されます。



2 修正を実行する場合、 をクリックする



補足

- 「○○（アプリケーション）の編集内容の確認」画面で **詳細④...** をクリックすると、シンクするデータの詳細な内容を確認できます。
- シンクするデータの範囲を細かく指定することもできます。詳しくはシンクの「ヘルプ」をご覧ください。
「ヘルプ」は、各画面から関連する内容のページを開くことができます。

4.2

■再シンクについて

再シンク④ をクリックして実行できる機能は以下のとおりです。

- 前回のシンクの記録を参照せずに、現時点で双方に存在するデータを共有する
- データを失ったり削除した場合に、他方に残っているデータを利用して元に戻す

「前回のシンクで登録／変更／削除されたデータ」かどうかを判別せずに、現時点で双方に存在するデータをそのままシンクしたい場合や、一度 Pocket PC のデータを削除した後で、削除を取り消したい場合は、「再シンク」ボタンを押してください。

4.3 Palm とのシンクを実行する

Palm とガルーンのデータをシンクするには、以下の手順で操作します。

4.3.1 シンク対象のデータを設定する

シンク相手（Microsoft Outlook / Pocket PC / Palm Handheld から選択します。）を一度設定した場合は、次回「シンク」を立ち上げた際にも、その設定が残ります。

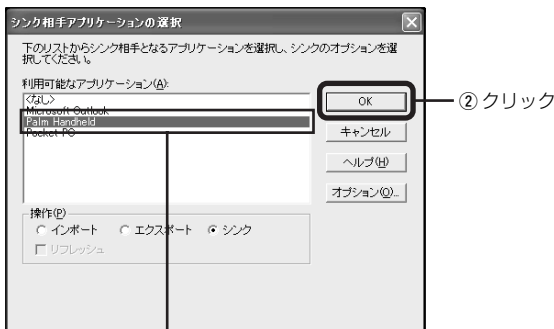
目的のシンク相手が表示されていない場合や正しく設定されていない場合、以下の方法で設定を行います。

- 1 シンクしたい「ガルーン 2」のアプリケーションをクリックしてチェックを入れ、**シンク相手の選択(D)** をクリックする



① チェックを入れる

- 2 「シンク相手のアプリケーションの選択」画面で Palm Handheld を選択し、**OK** をクリックする



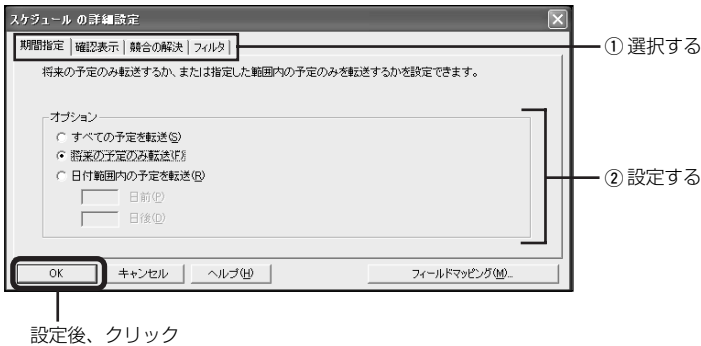
① 選択する

■ 詳細設定を変更する

- 1 設定を変更する「ガルーン 2」のアプリケーションを選択した状態で、
詳細設定(D) をクリックする



- 2 必要な項目を設定し、OK をクリックする



「ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定」 → P.47

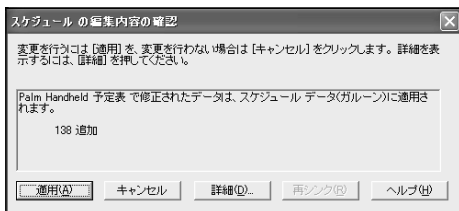
4.3.2 シンクを実行する

登録したシンクの設定に従って、シンクを実行します。

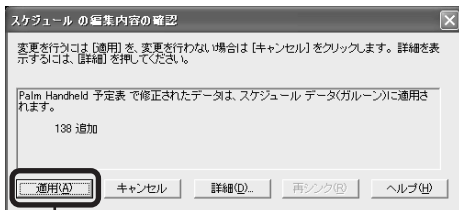
- 1 PalmOS デバイスの「HotSync」アイコン  をクリックする
シンク中は以下の画面が表示されますので、終了するまでお待ちください。



前回のシンク以降に追加／更新／削除されたデータを認識すると、確認画面が表示されます。



- 2 修正を実行する場合、 **適用(A)** をクリックする



クリック

補足

- 「〇〇（アプリケーション）の編集内容の確認」画面で **詳細④...** をクリックすると、シンクするデータの詳細な内容を確認できます。
- シンクするデータの範囲を細かく指定することもできます。詳しくはシンクの「ヘルプ」をご覧ください。
「ヘルプ」は、各画面から関連する内容のページを開くことができます。

4.3

■再シンクについて

再シンク④ をクリックして実行できる機能は以下のとおりです。

- 前回のシンクの記録を参照せずに、現時点で双方に存在するデータを共有する
- データを失ったり削除した場合に、他方に残っているデータを利用して元に戻す

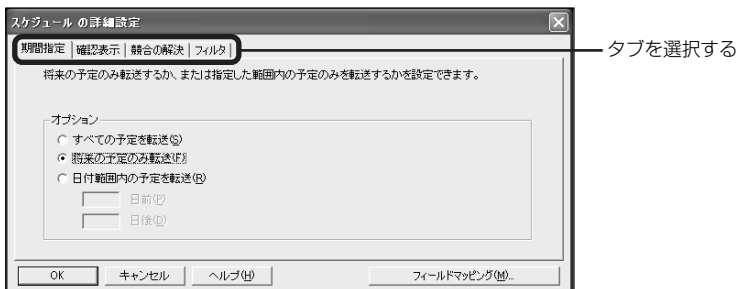
「前回のシンクで登録／変更／削除されたデータ」かどうかを判別せずに、現時点で双方に存在するデータをそのままシンクしたい場合や、一度 PalmOS のデータを削除した後で、削除を取り消したい場合は、「再シンク」ボタンを押してください。

4.4 ガルーン 2 アプリケーションごとの詳細設定

- 「詳細設定」画面では、以下の設定を変更できます。

4.4.1 シンクを行う範囲の設定

「詳細設定」画面の各タブをクリックして、各設定画面を表示します。



各画面で設定する内容は以下のとおりです。

<p>期間指定 (スケジュールのみ)</p>	<p>シンクする予定の範囲を設定します。選択できる設定は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての予定を転送 ・将来の予定のみ転送（初期設定） ・日付範囲内の予定を転送
<p>ToDo リスト (ToDo リストのみ)</p>	<p>完了／未完了データのシンク方法について設定します。選択できる設定は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目を転送 ・保留／完了していない項目のみ転送（初期設定）
<p>確認表示</p>	<p>シンクにより削除や変更が実行される前に確認画面を表示します。ここでは表示する内容を設定します。選択できる設定は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レコードの削除の確認 ・レコードの変更／追加の確認
<p>競合の解決</p>	<p>「ガルーン 2」で行った変更とシンク相手アプリケーションで行なった変更が競合する場合に実行するシンクの方法を設定します。選択できる設定は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競合データを全て追加する ・競合データを全て無視する ・競合の発生を通知する（初期設定） ・「ガルーン」を優先する ・シンク相手アプリケーションを優先する

フィルタ

項目に対する値などで条件を設定し、シンクを制限できます。
ここでは、制限する条件を設定します。
標準で以下のフィルタを選択できます。
・ <なし> (初期設定) (※ 1)
・ プライベートデータを除外する (※ 2)
また、新規でフィルタを作成することもできます。

(※ 1) 使用しない設定です。

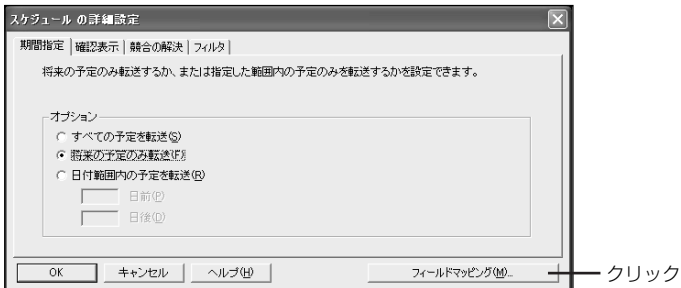
(※ 2) 非公開のデータを除外します。メール/メモ (Palm Handheld を除く) にはこの項目はありません。

4.4

4.4.2 シンクを行う項目の設定 (フィールドマッピング)

シンクするアプリケーションやシンク相手により、それぞれにシンクを行う項目の設定を変更できます。

「詳細設定」画面の **フィールドマッピング(M)** をクリックして、「○○ (アプリケーション) のフィールドマッピング」画面を表示します。

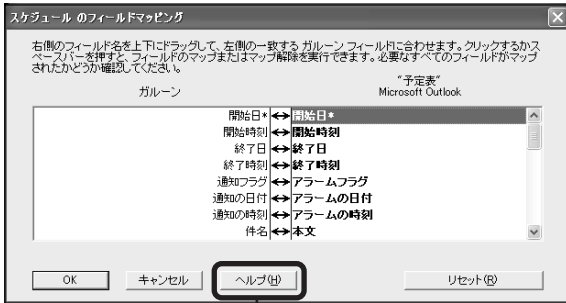


注意

- 通常は、シンクを行う項目は自動でマッピングされています。
フィールドマッピングの方法によっては、予期しない結果が起きることがありますので、フィールドマッピングを変更する前に、データのバックアップを取っておくことを推奨します。

補足

- 各項目に関する、さらに詳細な説明については、「シンク」の「ヘルプ」をご覧ください。ヘルプは、各画面から関連する内容のページを開くことができます。



クリック

4.4

索引

英数字

Microsoft Outlook	14、34、35
ユーザープロファイル	35
Palm	14、43
PocketPC	14、39
ToDo	14
ToDo リスト	14

あ

アドレス帳	14
アンインストール	24
インストーラー	17
インストール	15
インストールディレクトリ	18
インテリシンク	5、16
オプション	36

か

確認環境	13
確認表示	47
ガルーン接続設定	20
期間指定	47
基本認証	23
競合の解決	47

さ

再シンク	42
仕事	14、47
受信トレイ	14
使用許諾契約	3、17
詳細設定	47
Microsoft Outlook	36
PalmOS	44
PocketPC	40
商標	9
初期設定	21
シンク	3
設定（個人設定）	32

操作	33
範囲の設定	47
シンク相手	34、39、43
Microsoft Outlook	34
PalmOS	43
PocketPC	39
スケジュール	14
製品名称	3
製品略称	3
接続設定	20、21

た

対象読者	2
著作権	8
動作環境	13

は

フィールドマッピング	48
フィルタリング	48
プロキシ	22
プロキシサーバ	22
プロキシ認証	23
ヘルプ	49
ポート番号	22

ま

マッピング	48
マニュアル作成環境	2
メール	14
メールシンク	32
メモ	14
メモ帳	14

や

予定表	14
-----	----

ら

利用できる機能	14
ガルーン 2 のアプリケーション	14

シンク対応のツール.....	14
利用ユーザーの設定	
一括削除.....	28
選択削除.....	27
追加.....	27
連絡先.....	14